

住宅用火災警報器 の点検・交換



点検方法を消防庁動画にて公開中

住宅用火災警報器 消防庁

検索

点検は定期的に

本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が
鳴ります。少なくとも年に2回は、点検しま
しょう。（春・秋火災予防運動の時期に実施してみましょう。）

反応しない場合は、すぐに交換しましょう！

点検方法



点検方法



交換の目安は10年

設置年数は、設置の時に記入した設置年月日
や交換時期で確認できます。

記載がない場合は、製造年でおよその時期が
わかります。（電池切れなどにより正常に作動しない場合があります。）

設置から10年以上の場合も交換をお勧めします！

設置年数



記載がない場合



出典：消防庁ホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）を加工して作成。

あなたの**気づかないうちに火災が発生**するかもしれません！

命を守るために 住宅用火災警報器を！

市町の火災予防条例によって設置場所が異なることがありますので、最寄りの消防本部、消防署に確認しましょう。

※注意 消防職員が個人の住宅を訪問し、住宅用火災警報器を販売することはありません。